

「ヨエル書」 יוֹאֵל — 私訳と注解

1:3

リヴネーヘム	ウーヴネーヘム	サペールー	リヴネーヘム	アーレーハー
לְבָנֵיהֶם	וּבְנֵיכֶם	סִפְרוּ	לְבָנֵיכֶם	עָלֶיהָ
その子どもたちに	また、あなたがたの 子どもたちは	あなたがたは語りなさい	あなたがたの子どもたちに	このことについて
名男複尾3男複・前	名男複尾2男複・接	動ピ男2複命	名男複尾2男複・前	尾3女単・前
		アヘール	レドール	ヌーヴネーヘム
		אַחֵר	לְדוֹר	וּבְנֵיהֶם
		後の 形男単	世代に 名男単・前	さらに、その子どもたちは 尾3男複名複・接

〔私訳〕

このことについて、あなたがたは自分たちの子どもたちに語り伝えなさい。
またあなたがたの子どもたちはその子どもたちに。そしてその子どもたちは次の世代に。

〔注解〕

●3節には一つの動詞(命令形)があります。それは「伝える、語り伝える」ことを意味する「サーファル」(סִפְרוּ)です。2節「聞きなさい」「耳を傾けなさい」と呼びかけ、3節で「語り伝えなさい」と畳みかけています。何を「語り伝える」のかと言えば、4節にある「いなごによる未曾有の災害」についてです。

●あなたがた〔第1世代〕⇒あなたがたの子どもに〔第2世代〕⇒あなたがたの子どもたちの子どもに〔第3世代〕⇒さらに、その子どもたちは次の世代に〔第4世代〕というふうに、世代を越えて語り告げ続けて行かなければならない重大な責任があることを示唆しています。なぜなら、その出来事が一過性の出来事ではなく、神のさばきと救いについての特別な出来事として啓示されているからです。

●後の世代に語り継ぐことは、旧約における重要な伝統です。詩篇78篇にそれを見ることができます。

【新改訳改訂第3版】詩篇78篇4～7節

- 4 それを私たちは彼らの子孫に隠さず、後の時代に語り告げよう。【主】への賛美と御力と、主の行われた奇しいわざとを。
- 5 主はヤコブのうちにさとしを置き、みおしえをイスラエルのうちに定め、私たちの先祖たちに命じて、これをその子らに教えるようにされた。
- 6 後の世代の者、生まれてくる子らが、これを知り、彼らが興り、これをその子らにまた語り告げるため、
- 7 彼らが神に信頼し、神のみわざを忘れず、その仰せを守るためである。

●他の例としては、出エジプトにおける「過越」の出来事を代々にわたって記念とすべきことが命じられています(出12:26～27, 13:8)。